本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

200件のテレメモ記憶/ワールドタイム
アラーム/ストップウオッチ

1650

取扱説明書

P

1650

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。
本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

■本機の特長

- 電池が消耗しても、入力したテレメモデータが保持されるメモリー（EEPROM）を使用しています。
- ELバックライト…暗いところでも表示を明るく照らします。
- テレメモ…名前１件につき、電話番号、FAX番号、携帯番号をそれぞれ２本ずつとE-MAILアドレスを１本記憶できます。
- その他、世界29タイムゾーン（27都市）の標準時刻および、世界標準時（GMT）の時刻がわかるワールドタイムをはじめ、時刻アラーム、時報、ストップウオッチ機能が付いています。

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。
電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。
ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

●バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
●「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
●万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



データ控を作ってください

記憶させた内容は、付属の備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理などにより、記憶内容が消えることがあります。



■データの保護について

●本機は電池が消耗しても記憶させた内容が保持されるメモリー（EEPROM）を採用しておりますが、以下の場合には、記憶内容が消えたり、変化することがありますのでご注意ください。
・本体を分解したとき
・故障・修理のとき
・極度の静電気や衝撃を与えたとき
・極端な外的環境下（特に低温下）で使用したとき
・電池交換の方法をまちがえたとき

●「万一の事故」、「故障・修理」、「腕時計本体の紛失・盗難」などのときのために、データは必ず「名刺など元になるものを残しておく」か、「別のノートなどに控えておく」などして、控えを残しておいてください。
※付属の備忘録を利用すると便利です。

〈お願い〉
電池が消耗すると、“BATT”マークが表示され、メモリーしたデータを見ることができなくなります（30ページ参照）。“BATT”マークが表示されるときは、お早めに電池交換されることをおすすめします。なお、電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンター（裏表紙に記載）にお申し付けください。

本機を使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり、変化したことで生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

目　次

安全上のご注意 ……表紙裏面
データの保護について ……3
操作のしくみと表示の見方 ……4
ライト点灯について ……6
デモ(デモンストレーション)機能について ……6
メモリーについて ……7
テレメモの使い方 ……8
ワールドタイムの使い方 ……14
アラーム・時報の使い方 ……16
ストップウオッチの使い方 ……18
時刻・カレンダーの合わせ方 ……19

製品仕様 ……21
(付録)
■メモリー件数について ……22
■Q&A ……23
備忘録 ……24
ご使用上の注意 ……28
お手入れについて ……29
電池交換について ……30

1 操作のしくみと表示の見方

Ⓓボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。

時刻モード

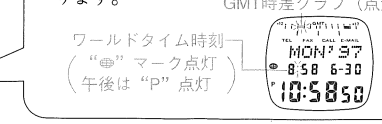
＜通常表示＞



★表示切替＜デュアルタイム表示＞

通常表示のとき、Ⓑボタンを1～2秒間押すとホームタイムに加えてワールドタイムモードで選ばれている都市の時刻を表示します。

※もう一度Ⓑボタンを1～2秒間押すと通常表示に戻ります。



●GMT時差グラフ表示の見方

ホームタイムおよびワールドタイムの世界標準時（GMT）との時差をグラフで表示します。

※グラフ表示は2時間単位となります。



●曜日の見方

SUN：日　MON：月　TUE：火　WED：水
THU：木　FRI：金　SAT：土

テレメモモード



約1秒後



☞8ページ参照

ワールドタイムモード



約1秒後



☞14ページ参照

※テレメモモードのまま2～3分すると自動的に時刻モードに戻ります。

アラームモード



☞16ページ参照

ストップウオッチモード



☞18ページ参照

ライト点灯について

どのモードのときでも、Ⓐボタンを押すと文字板が約１.5秒間発光します。

※文字板発光中にⒶボタンを押すと、その時点から引き続き約1.5秒間発光します。ただし、Ⓐボタンを１～２分以上押し続けると、自動的にライトが消えます。



＜ご注意＞

●直射日光の下では発光が見えにくくなります。

●発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。

●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のために時計内部のELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

デモ(デモンストレーション)機能について

本機は工場出荷時に「デモ（デモンストレーション）機能*」に設定されています。
（デモ機能中はモード切替等の操作はできません）

*「デモ機能」とは、時計の機能の一部を自動的に表示するものです。



●デモ機能の解除…Ⓓボタンを約３秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

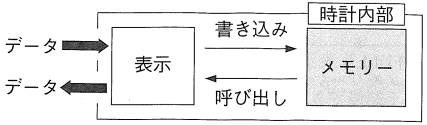
●デモ機能の設定…解除するときと同様にⒹボタンを約３秒間押し続けます。

2 メモリーについて

本機は、電池が消耗しても、入力したデータを保持できるメモリー（EEPROM）を使用しています。

■メモリーのしくみ

本機は、電池が消耗しても、入力したデータを保持できるメモリー（EEPROM）を使用しています。本機にデータを入力すると、自動的にメモリー（EEPROM）に書き込みます。データを探すときは、このメモリーから該当のデータを呼び出し、表示します。



■保持されるデータ

以下のデータは電池が消耗しても消去されません。

・テレメモ…… 名前／電話番号、携帯番号、FAX番号、E-MAILアドレス

※データについて詳しくは各機能の項目をご覧ください。

■電池が消耗すると（電池切れ予告機能）

電池の消耗時期が近づくと、下図のような“電池切れ予告表示”となります。操作時に、この表示になるときは、お早めに電池交換を行なってください。

※電池交換は、必ずお買い上げ、または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。

電池切れ予告中にデータ呼び出し、入力などの操作を行なうと、“BATT”表示後、空ページ表示となります。このとき、データ呼び出し、入力操作はできなくなります。また、アラーム・時報や操作確認音の報音、ライト点灯は行ないません。（30ページ参照）

“BATT”表示

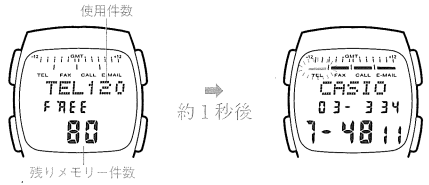


（テレメモモードのとき）

3 テレメモの使い方

時刻モードのときに、Ⓓボタンを1回押してテレメモモードにします。

テレメモモードに切り替えた直後は、テレメモ使用件数と残りメモリー件数表示後、前回テレメモモードで最後に見たデータの名前と入力されている最初の項目を表示します。



■テレメモ機能について

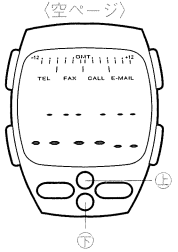
テレメモモードでは名前1件につき電話番号、FAX番号、携帯番号をそれぞれ2本ずつとE-MAIL*アドレスを1本記憶できます。記憶できる件数は「名前8文字＋数字12桁」で200件です。なお、1件ごとの内容によって記憶できる総件数は変わります。(「付録」参照) また、データを入力すると、名前順に並び替え（自動ソート）が行なわれます。

*E-MAIL（electronic mail）とは、パソコンを使ってメッセージを送る機能です。

■テレメモデータ入力

(1)テレメモモードのとき、

Ⓣまたは㊦ボタンを押して空ページ表示にします(右図)



★“◇FULL”表示になるときは…
すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消してから再度セットを行なってください。(「■テレメモデータ消去」参照)

(2)セット表示にする

Ⓒボタンを1～2秒間押します

→名前部の1桁目が点滅します。



(3)名前を入れる

a. 文字の種類を選ぶ

Ⓐボタンを押します



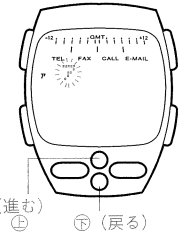
→Ⓐボタンを押すごとに入力文字マークが「ア→A→a→ア…」の順で切り替わります。

※Ⓐボタンを押し続けると入力したデータが消去されます。

入力できる文字は以下のとおりです。
“ア”…カタカナ（ア～ン、小文字ァイゥエォッャュョ、゛、゜）、数字（0～9）、記号（＊、－、＿、@、／、＃、.、,、:、;、’、,）
“A”…英大文字（A～Z）、数字（0～9）、上記の記号
“a”…英小文字（a～z）、数字（0～9）、上記の記号

b. 文字を入力する

㊤または㊦ボタンを押します



→㊤ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、㊦ボタンを押すごとに戻ります。

※㊤・㊦ボタンとも、押し続けると早く進み（戻り）ます。
※カタカナのときは、押し続けるとア段の早送り（ア⇔カ⇔サ⇔タ…）になります。

c. 桁を選ぶ

㊨ボタンを押します



→㊨ボタンを押すごとに点滅箇所が右に移動しますので、文字を入力したい桁を点滅させます。

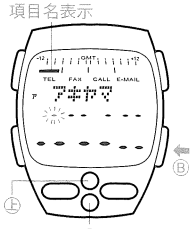
※㊧ボタンを押すと点滅箇所が左に移動します。

上記a.～c.の操作を繰り返して名前を入力していきます。

※最大8文字まで入力できます。
※アルファベットのO（オー）を数字の0(ゼロ）で代用するなど、形の似た文字を使うと正しく並び替え（自動ソート*）されませんのでご注意ください。

*自動ソート…記憶されたデータは名前部の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順序は(スペース)、カタカナ(ア～ン)、英大文字(A～Z)、英小文字(a～z)、数字(0～9)、各種記号(＊、－、＿、@、／、＃、.、,、:、;、’、,）の順です。

(4)データ（電話番号など）を入れる
名前部入力後、



Ⓑボタンを押して入力したい項目を表示させます

→Ⓑボタンを押すごとに入力項目が「TEL①→TEL②→FAX①→FAX②→CALL①→CALL②→E-MAIL」の順で切り替わります。なお、①②は実際には表示されません。

※E-MAILセット表示のときⒷボタンを押すと点滅が名前部1桁目に戻ります。

★電話番号、FAX番号、携帯番号を入力するときは…

番号部が点滅しているとき、以下の操作を繰り返して数字を入力していきます。（それぞれ最大12桁まで入力できます）

数字を入力する

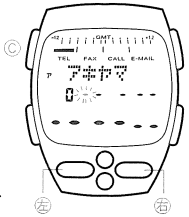


上または下ボタンを押します

上ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、下ボタンを押すごとに戻ります。

※上・下ボタンとも、押し続けると早く進み（戻り）ます。
※入力できる数字は0～9、－（ハイフン）、スペースです。

桁を選ぶ



右ボタンを押します

右ボタンを押すごとに点滅箇所が右に1つ移動します。
※左ボタンを押すと点滅が左に移動します。

★E-MAILアドレスを入力するときは…

名前部入力時と同様に、９ページａ.～ｃ.の操作を繰り返して文字を入力していきます。（最大46文字まで入力できます）

(5)すべての入力が終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

→自動ソートが行なわれ、新規入力表示（名前部1桁目点滅）になります。なお、続けて他のデータを入力することができます。

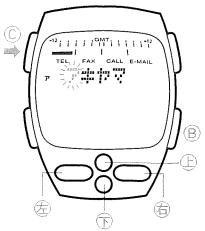
(6) もう一度Ⓒボタンを押すと点滅が止まります

※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。
※データを入力すると、該当する項目名表示が点灯します。なお、表示しているデータの項目名表示は点滅します。

■テレメモデータ修正

(1)テレメモモードのとき、修正したいページを上または下ボタンを押して選びます。

(2)Ⓒボタンを1～2秒間押してセット表示（名前部1桁目が点滅）にします。



※各種番号部を修正するときは、セット表示にした後、Ⓑボタンを押して修正したい項目を表示させます。

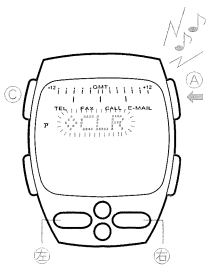
(3)右ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、上・下ボタンで正しい文字（数字）を表示させます。

(4)データ修正後、Ⓒボタンを押します。

■テレメモデータ消去

(1)テレメモモードのとき、消去したいページを上または下ボタンを押して選びます。

(2)Ⓒボタンを1～2秒間押してセット表示（名前部1桁目が点滅）にします。



(3)Ⓐボタンを1秒間押し続けると、“◇CLR”表示が点滅し、さらに3秒間押し続けると確認音が鳴りデータが1件分消去されます。

※データ入力をしている項目のうち1つだけを消去することはできません。

(4)データ消去後、Ⓒボタンを押します。

■テレメモデータを探す

(1)見たいページ（名前）を探す

テレメモモードのとき、
Ⓣボタンを押します



→押すごとにテレメモデータが順番に表示されます。

※Ⓤボタンを押すごとに逆方向に進みます。

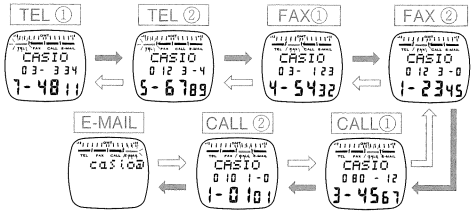
※Ⓣ・Ⓤボタンとも、押し続けると早く進みます。

(2)項目を切り替える

見たいページ（名前）が表示されたら、

Ⓡボタンを押します

→Ⓡボタンを押すごとに➡の順に、Ⓛボタンを押すごとに⇨の順に項目が切り替わります。



※上図の①、②は実際には表示されませんので表示の切り替わりで確認してください。

※データ入力した項目のみ表示します。なお、表示しているデータの項目名表示は点滅します。

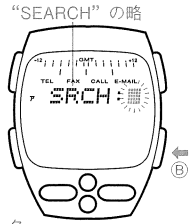
※E-MAILアドレスを7文字以上入力したときは、右から左へスクロール表示されます。
スクロール中にⒸボタンを押すと先頭の6文字を表示してスクロールが止まり、Ⓒボタンを押すごとに6文字ずつ表示します。(Ⓡボタンを押すとスクロールを再開します)

●インデックスサーチ

名前の頭文字を選ぶと知りたいデータが表示される機能です。

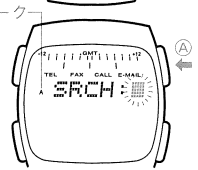
(1)テレメモモードのとき、

Ⓑボタンを1～2秒間押します



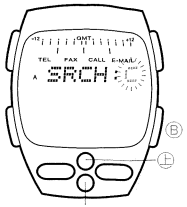
→インデックスサーチ表示になります。

(2) Ⓐボタンで入力文字の種類を選びます



→Ⓐボタンを押すごとに入力文字マークが「ア→A→a→ア…」の順で切り替わります。

(3) ⓊまたはⓉボタンを押して名前の頭文字を選びます



※選べる頭文字は1文字となります。

(4) Ⓑボタンを押します



→その頭文字の先頭にあるデータの名前と入力されている最初の項目が表示されます。

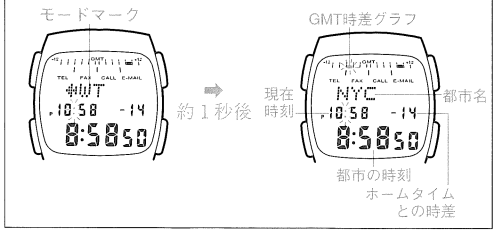
※該当データが入力されていないときは、"NODATA" 表示となります。このときはⒹボタンを押すとテレメモモードに戻ります。

・同じ頭文字のデータが複数あるときは、先頭のデータ表示後、ⓉまたはⓊボタンを押してデータ検索を行なってください。

4 ワールドタイムの使い方

時刻モードのときにⒹボタンを2回押してワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻とホームタイムとの時差を表示します。



ワールドタイム機能について

ワールドタイムは世界29タイムゾーン（27都市）の時刻およびホームタイムとの時差を簡単に知ることができる機能です。

時刻モードでホームタイムおよび都市名をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。（19ページ「時刻・カレンダーの合わせ方」参照）

※ワールドタイムの「秒」はホームタイムの「秒」に連動して表示されます。
※ホームタイムを24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

Ⓒまたは(左)ボタンを押します

→各都市の時刻が表示されます。
※Ⓒ・(左)ボタンとも、押し続けると早く進みます。



サマータイムの設定

(1)ワールドタイムモードのとき、Ⓒまたは(左)ボタンを押して、サマータイム設定したい都市を選びます。

(2) Ⓑボタンを1～2秒間押します

→“DST”マークが点灯し、サマータイム設定*になります。

＊サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。“DST”マークは、サマータイムを意味する「Daylight Saving Time」の略語です。

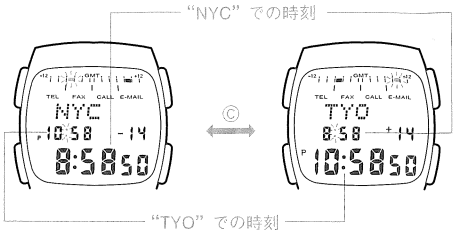


※サマータイムは各都市ごとに設定することができます。
※“GMT”表示のときは、サマータイム設定はできません。
※“DST”マークが点灯しているときにⒷボタンを1～2秒間押すと通常の時刻に戻ります。

★ワールドタイムとホームタイムの表示入れ替え

ワールドタイムモードのとき、Ⓒボタンを1～2秒間押すと確認音が鳴り、ワールドタイムとホームタイムの表示を入れ替えることができます。

※もう一度Ⓒボタンを1～2秒間押すと元の表示に戻ります。



例）ワールドタイム→“NYC”　ホームタイム　→“TYO”
例）ワールドタイム→“TYO”　ホームタイム　→“NYC”

※ワールドタイムモードで表示の入れ替えを行なうと、時刻モードでの表示（ワールドタイム／ホームタイム）も自動的に入れ替わります。旅行先で一時的に表示を替えて日付・曜日を見たり、アラームを鳴らすときなど便利です。

ワールドタイム都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市・地域
――		−11	パゴパゴ
HNL	ホノルル	−10	パペーテ
ANC	アンカレジ	−9	ノーム
LAX	ロサンゼルス	−8	サンフランシスコ、シアトル、ラスベガス
DEN	デンバー	−7	エルパソ、エドモントン
CHI	シカゴ	−6	ダラス、メキシコシティ、ヒューストン
NYC	ニューヨーク	−5	マイアミ、ボストン、モントリオール
CCS	カラカス	−4	サンティアゴ
RIO	リオデジャネイロ	−3	サンパウロ、ブエノスアイレス
――		−2	
――		−1	アゾレス諸島
GMT		±0	＜グリニッジ標準時＞
LON	ロンドン	±0	ダブリン、リスボン
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、フランクフルト
CAI JRS	カイロ エルサレム	+2	アテネ、ヘルシンキ、 ベイルート、ケープタウン
JED	ジッダ	+3	クウェート、ナイロビ
THR	テヘラン	+3.5	シーラーズ
DXB	ドバイ	+4	アブダビ
KBL	カブール	+4.5	
KHI	カラチ	+5	
DEL	デリー	+5.5	ボンベイ、カルカッタ
DAC	ダッカ	+6	コロンボ
RGN	ヤンゴン	+6.5	
BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
HKG	香港	+8	北京、台北、シンガポール、マニラ、クアラルンプール
TYO	東京	+9	ソウル、平壌
ADL	アデレード	+9.5	ダーウィン
SYD	シドニー	+10	グアム島
NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は1996年12月現在作成のものです。
※時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

5 アラーム・時報の使い方

時刻モードのときに、Ⓓボタンを3回押してアラームモードにします。

5本の「月日時分」を設定できるアラーム機能と、毎正時（00分）に電子音で知らせる時報機能があります。

※アラーム・時報はホームタイムの時刻に合わせて鳴ります。

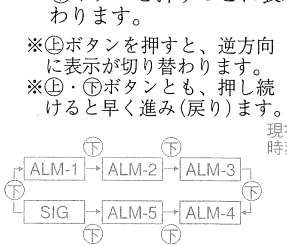
■アラーム時刻の確認

アラームモードのとき、㊦ボタンを押します

→㊦ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。

※㊤ボタンを押すと、逆方向に表示が切り替わります。

※㊤・㊦ボタンとも、押し続けると早く進み(戻り)ます。





■アラーム時刻の設定

(1)アラームモードのとき、㊦または㊤ボタンを押して、設定したいアラーム番号を選びます。

(2) Ⓒボタンを1～2秒間押します

→アラーム時刻の「時」が点滅します。

※アラームマーク“))) ”が点灯し、自動的にアラームONになります。

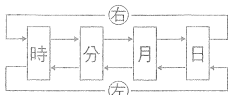


(3)セット箇所を選ぶ

㊨ボタンを押します

→㊨ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

※㊧ボタンを押すごとに逆方向に点滅が移動します。





(4)点滅箇所のセット

㊤または㊦ボタンを押します

→㊤ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、㊦ボタンを押すごとに戻ります。

※㊤・㊦ボタンとも、押し続けると早く進み(戻り)ます。



上記(3)～(4)の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※ホームタイムを24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

※「時・分」に加えて、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

毎日鳴らしたいとき→「時・分」のみセット
1ヶ月間毎日鳴らしたいとき→「月・時・分」のみセット
毎月同じ日に鳴らしたいとき→「日・時・分」のみセット
指定月日に鳴らしたいとき→「月・日・時・分」すべてセット

(5) セットが終わりましたら、Ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

■アラーム・時報のON／OFF設定

(1)アラームモードのとき、㊦または㊤ボタンを押し、ON／OFF設定したい表示（アラームまたは時報）を選びます。

(2) Ⓑボタンを押します

→Ⓑボタンを押すごとにマークが点灯／消灯を繰り返します。



〈アラーム１表示〉



〈時報表示〉

※アラーム表示のときはアラームマーク“))) ”、時報表示のときは時報マーク“ 🔔 ”が点灯／消灯します。マークが点灯しているときがON、消灯しているときがOFFとなります。

■モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓑボタンを押している間、アラーム音が鳴ります。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

6 ストップウオッチの使い方

時刻モードのときに、Ⓓボタンを4回押してストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測し続けます。

計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、

Ⓡボタンを押すごとに計測開始／終了します

※計測中にⓁボタンを押すと表示が止まり*、スプリットタイムを表示します。もう一度Ⓛボタンを押すとスプリットが解除されます。

*スプリットタイム表示中でも内部では計測を続けています。



●通常計測

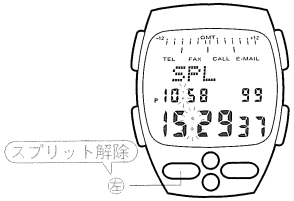
Ⓡ ➡ Ⓡ ➡ Ⓛ
スタート　ストップ　リセット

＜積算計測＞

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⓇボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓡ ➡ Ⓛ ➡ Ⓛ ➡ Ⓡ ➡ Ⓛ
スタート　スプリット計測　スプリット解除　ストップ　リセット



●1・2着同時計測

Ⓡ ➡ Ⓛ ➡ Ⓡ ➡ Ⓛ ➡ Ⓛ
スタート　1着ゴール　2着ゴール　2着タイム表示　リセット
（1着タイム表示）

7 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法で合わせてください。

秒の合わせ方…30秒以内の遅れ進みの修正

月に一度くらい「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

(1)時刻モードのとき、

Ⓒボタンを1～2秒間押します

→「秒」が点滅します。



(2) Ⓛボタンを押します

→「00秒」からスタートします。

※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。（時報は「時報サービス117番」が便利です）



(3) セットが終わりましたらⒸボタンを押します

→秒の点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

時刻・カレンダーの合わせ方（ホームタイム都市の設定）

(1)時刻モードのとき、

Ⓒボタンを1～2秒間押します

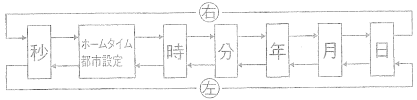
→「秒」が点滅します。

(2)セット箇所を選ぶ

Ⓡボタンを押します

→Ⓡボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





※Ⓛボタンを押すごとに逆方向に点滅が移動します。

(3)点滅箇所のセット

㊤または㊦ボタンを押します



→㊤ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、㊦ボタンを押すごとに戻ります。
※㊤・㊦ボタンとも、押し続けると早く進み（戻り）ます。

★12/24時間制表示切り替え
表示が点滅しているときに、Ⓐボタンを押すごとに12時間制表示（午前／午後“P”）と24時間制表示（24）とが切り替わります。

★サマータイム設定
表示が点滅しているときに、Ⓑボタンを押すと“DST”マークが点灯し、サマータイム設定*になります。
※“DST”マークが点灯しているときにⒷボタンを押すと、通常の時刻に戻ります。
*サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。



上記(2)～(3)の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「ホームタイム都市設定」のときは、㊤または㊦ボタンを押すごとに都市名が切り替わります。（15ページ「■ワールドタイム都市コード一覧」参照）
例）東京（日本）の時刻に合わせるときは、都市名を“TYO”に設定します。
※「時」のセットのとき午前／午後“P”または24時間制にご注意ください。
※年は1995～2039年まで合わせることができます。なお、曜日は年月日を合わせると自動的に表示されます。
※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正する必要はありません。

(4) セットが終わりましたらⒸボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

製品仕様 ※仕様およびデザインは改良のため予告なしに変更することがあります。

水晶発振周波数：32,768Hz
精　　度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：時・分・秒・年・月・日・曜日
午前／午後（P）／24時間制表示（24）、フルオートカレンダー（1995～2039年）
テレメモ機能：名前と電話番号などを最大200件までメモリー
※メモリー件数は1件あたりのデータ量によって変わります。
ワールドタイム機能：世界29タイムゾーン（27都市）の時刻、世界標準時（GMT）の時刻を表示、サマータイム設定機能
アラーム機能：時刻アラーム　5本
セット単位＝分
電子音＝20秒間
時報　毎正時に2回電子音で報知
ストップウオッチ機能：計測単位＝1／100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99（24時間計）
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
その他：自動復帰機能、モニターアラーム、ELバックライト、12／24時間制表示切り替え、デモ機能
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
CMOS - LSI、EEPROM
使用電池：CR - 2016（電池別途販売）
電池寿命：約2年
（1日当たりアラーム20秒間、ライト1.5秒間使用した場合）

●ライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
1日当たり7.5秒（1.5秒×5）使用→約17ヶ月
1日当たり15秒（1.5秒×10）使用→約12ヶ月

付録

■メモリー件数について

本機は、１件あたりのデータ量によって、メモリーできる総件数が変わります。
※１件のデータが「名前８文字＋数字12桁」のときは、最大200件までメモリーすることができます。ただし、１件のデータをこれより多く入力したときは、メモリーできる総件数は少なくなります。(以下の表参照)

データ量			換算件数*	最大入力可能件数
名前	数字	E-MAIL		
8文字	−−	−−	1	200
8文字	12桁×1	−−	1	200
8文字	12桁×2	−−	2	100
8文字	12桁×3	−−	2	100
8文字	12桁×4	−−	3	66
8文字	12桁×5	−−	3	66
8文字	12桁×6	−−	4	50
8文字	12桁×6	7文字	4	50
8文字	12桁×6	15文字	5	40
8文字	12桁×6	23文字	5	40
8文字	12桁×6	31文字	6	33
8文字	12桁×6	39文字	6	33
8文字	12桁×6	46文字	7	28

*換算件数とは、「名前８文字＋数字12桁」のデータ量を１としたときに換算される件数
例)「名前８文字＋数字12桁×２」のデータは２件分

■Q&A

Q１ どうして電池が消耗してもデータが保持されるのですか？

A データメモリー部に、メモリー保持のための電源を必要としないEEPROM*を使用しているからです。
ただし、このメモリー部に対して、極度の静電気や衝撃を与えたり、極端な外的環境下（特に低温下）で使用した場合、データが変化したり、消えてしまったりすることがありますのでご注意ください。
セットしたデータは必ず他のノートなどに控えておくことをおすすめします。

*EEPROM＝Electric Erasable Programable Read Only Memoryの略

Q２ “BATT”マークが表示されるのですが？

A これは、電池容量が減り消耗時期が近づいていることを知らせる合図です。この表示が出たときは、お早めに電池交換を行なってください。なお、このときはテレメモデータの呼び出し／入力およびライト点灯、時刻アラーム・時報、操作確認音の報音は行ないません。

Q３ 電池交換はどこで行なえば良いですか？

A 電池交換は、本機をお買い求めになった販売店、または本書巻末に記載のカシオサービスセンターにお申し付けください。
むやみに裏蓋を開けたり、電池交換を行なったりすると、入力したデータが消えてしまうことがありますのでご注意ください。

ご使用上の注意

防水性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5 BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

温度

●直射日光が長く当たったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

磁気

●磁気の影響はありません。

薬品類

●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

ELパネル(表示照明部)の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

ご使用中、万一、液晶部に“◇CLOSE”と表示されたまま消えないときは、速やかにお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお持ちください。“◇CLOSE”と表示したまま裏ブタを開けるなど分解しますと、記憶したデータが消えることがあります。

お手入れについて

お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布で拭き取り、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損なわれることがあります。

お手入れを怠ると

●「サビ」
●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
●皮膚の弱い方や体調によりかぶれたりすることがあります。
●特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保障期間内でも有料となります。

■消　　耗

●電池が消耗しますと「時計の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」することがあります。

●電池の消耗時期が近づきますと、電池切れ予告として、“BATT”マークが表示されます。
このときは速やかに電池交換を行なってください。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。



（テレメモモードのとき）

●電池の消耗時期が近づくと…
メモリーに記憶されているデータを保護するため、データ呼び出し、入力などのメモリーを使用する操作はできなくなるなど、以下の現象が現われます。

〈テレメモモードのときは〉
データ呼び出し、入力などの操作はできません。
（ボタン操作をしても、“BATT”を１～２秒間表示し、空ページ表示となります）
なお、データ入力途中に電池が消耗すると、そのとき入力していたデータは記憶されません。

〈その他〉
アラーム・時報・操作確認音の報音、ライト点灯も行ないません。

■電池交換

電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。

■お客様へ
電池交換の際には、お店の方に必ずこのページをお見せください。

■ご販売店さまへ
本機の電池交換を行なう場合、以下の点にご注意ください。

●使用する電池は
電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換前のご注意
裏蓋を開けたときに、万一、液晶部に“◇CLOSE”と表示されているときは、電池を抜き取らず、裏蓋を閉じ、しばらくしてからあらためて裏蓋を開けるところから行なってください。なお、“◇CLOSE”表示のときに電池交換を行なうと、データ内容が変化したり消えてしまうことがありますのでご注意ください。
※表示が消えているときは問題ありません。

●電池交換後のご注意
電池交換後、裏蓋を閉める前に、必ず、オールクリアー（AC）操作を行なってください。
※オールクリアー操作を行なっても、データが消えることはありません。

●電池交換のご注意
裏蓋を閉めたあと、約20秒経過しても表示が正常に戻らないときは、もう１度裏蓋を開け、オールクリアー（AC）操作を行ってください。

オールクリアー操作を行なうと、内部のデータをチェックするために“◇WAIT”と表示されます。入力されているデータ数により、５～６分間かかることがあります。なお、“◇WAIT”表示のときには、時刻修正（19ページ）は行なえますが、それ以外の操作はできませんのでご注意ください。内部でのデータのチェックが終わると、正常に使用できます。

